

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市楠プラザ運動施設
所在地	四日市市楠町北五味塚1211-1
指定管理者	名称 特定非営利活動法人楠スポーツクラブ 代表者 理事長 福田 晃太郎 住所 四日市市楠町北五味塚1215-1
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、事業計画書を基に、管理運営状況を年間事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	楠総合支所 楠プラザ TEL : 059-397-2277 E-mail : kusu-plaza@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

楠プラザ運動施設の目的は、社会教育の振興及び地域における生活文化の向上、スポーツ等の振興を図るため施設として楠町当時に設置された。四日市市との合併により、運動施設のみを指定管理者として管理運営し、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上と経費の削減を果たしながら、事業運営や施設の維持管理を適切に行ったので総合的に判断して良好と評価する。

管理運営については、計画どおり運営され、総利用率で前年比で約7%の増加と500人以上の事業参加を達成された。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施した。

自主事業については、当初計画以外の追加事業を行うなど、利用率の向上に努めた。

経費については、地域総合型スポーツクラブの利点を活かした管理運営方針で経費削減に努めた。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

楠プラザ運動施設は、指定管理者の導入及び指定管理者の事業努力により、四日市市の運動施設として周知されたことや魅力ある事業・イベントの展開と広報活動を積極的に行うことで利用者の増につながったと考えられる。その他に顧客満足度を高めるため、アンケートの実施及び利用者の声を反映させるなど、利用者の視点に立った効率的な運営を引き続き求めていくことで、更なる利用者の拡大を図る取組みに期待したい。

また、2年間の指定管理業務の中で、ハード面において積極的な施設修繕や備品購入を行い、市民の利便性が高まったと考えられるが、利用者が増加したことで、利用者に支障をきたすことの無いよう注意する必要がある。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

スポーツ活動を行う団体への貸館、スポーツ振興事業、体力相談、大会及びイベントの実施等施設の目的に沿った実施方針に基づき適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。施設の効用については、当初計画より延べ利用者数・利用率ともに増加しました。管理経費については、当初計画の範囲内で効率的に執行されていました。また、四日市市楠プラザ条例並びに四日市市楠プラザ条例施行規則など関係法令に基づき運営が行われるなど、法令順守の管理が行われていた。特に施設の使用申請から許可まで迅速で適正な事務が行われていた。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

スポーツ振興の向上のため、事業運営に関する業務や自主事業を事業計画に則って適切に実施されていました。2年目ということもあり、利用者数・利用率の増加については、新たな自主事業を展開することで大幅な増につながったといえます。その他に、事業アンケートに反映して、参加者がステップ・アップできるような事業を行うなどの創意工夫や施設利用者の声に迅速に対応するなどの取り組みがなされていた。また、施設管理を行う職員に対しても、指導者研修会として、ニュースポーツ普及のための研修や運動適正テストの講習員の研修など施設管理者のレベルアップを目的に開催したり、サブクラブマネージャーを配置するなどの工夫がみられた。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても毎月の計画と結果を月に一度の連絡調整会議に報告し、計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館利用料や事業参加費等の利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていた。施設の利用に関する許可申請書、保守点検等に関する報告書類も整理されていた。四日市市楠プラザ条例等の法令を遵守し、利用者に対し公平公正な事務手続きがされ、税務処理も適正な処理がされていた。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施していた。個人情報保護についても研修会を行い、犯罪防止・秘密保持に努めていた。施設賠償責任保険の加入もされていた。また、業務開始前には、施設や設備の点検を行い利用者が安全に利用できるよう心がけていた。また、スポーツ施設では、急病やケガなどの事案が発生するため、あらかじめ備え付けのAEDの操作や緊急時の対応、職員研修として普通救命講習の実施などが行われており、体育施設管理士、普通救命講習修了証取得の職員を適正に配置していた。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯等の省力化、冷暖房温度の省エネ設定の徹底等について、それぞれ創意工夫をして実施されていた。体育施設は、市民の皆さんが気軽に訪れることができる施設であるため、ゴミ処理については、リサイクルの観点から分別を行っていた。また、利用者によるゴミの持ち帰り制度や施設内のゴミ箱や灰皿の撤去を行っており、施設利用者への周知を引き続き行っていた。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行された。利用料収入が計画よりも増加するなど収入が確保された。支出においては、委託料などの削減が図られ、施設修繕、備品購入は、計画的なもの・利用者の声を積極的に取り入れ適切に執行された。経済性については、良好と判断した。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表を分析した結果、黒字を計上するなど特に問題となる指標は見受けられず、経営は安定しているものと判断している。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市 楠プラザ運動施設		所管課: 楠総合支所 楠プラザ
所在地	四日市市楠町北五味塚1215番地1		設置年月: 平成17年2月
設置目的	社会教育の振興及び地域における生活文化の向上、スポーツ等の振興を図るため設置		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市楠プラザ条例		
施設の概要	敷地面積 (m ²)	7.55 ha	
		延床面積 (m ²)	2,760 m ²
	設備の概要		<p>【楠緑地多目的運動場】面積13,200m² 野球1面 サッカー1面 陸上(200mトラック)</p> <p>【楠緑地体育館アリーナ】面積2,604m² アリーナ 面積1,152m² (32m×36m) バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン6面 卓球台9台</p> <p>【楠緑地体育館武道場】面積240.25m² (15.5m×15.5m)</p> <p>【楠緑地体育館ミーティングルーム】面積84m² (7m×12m)</p> <p>【楠緑地テニスコート】面積2,640m² 砂入り人工芝4面 (オムニコート)</p> <p>【楠緑地ゲートボール場】面積1,030m² コート2面</p>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ教室、大会およびイベントの実施 ・個人利用料を用いた一般公開事業の実施 ・スポーツ体力相談事業に関すること ・その他スポーツ振興事業の企画運営に関すること 		

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
		計画対比	
開館日数	359日	359日	0日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	-

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比	
施設利用者数	利用者件数	当初計画では件数設定なし	7,002	-
	利用者数	当初計画では人数設定なし	107,199	-
	稼働率	26.60%	33.7%	7.1%
事業参加者実績	スポーツ教室事業	3教室 全24回	7教室 全58回 (131人)	4教室 34回
	大会及びイベント	2大会	2大会 (305人)	
	体力相談事業	運動適正テストの実施	運動適正テスト・メタボ体操 (110人)	1事業
	スポーツ振興事業	3種目 年間9回	4種目 年間11回 (73人)	1種目 年間2回
	一般公開事業	年間4回 参加者数 (200人)	年間52回 参加者数 (317人)	48回 117人

4. 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
利用料金収入		4,306,028	7,239,170	2,933,142
指定管理料		23,400,000	23,400,000	0
雑収入		0	109,464	109,464
自主事業収入		354,000	665,070	311,070
収入計		28,060,028	31,413,704	3,353,676
人件費		8,286,320	6,958,074	△ 1,328,246
管理費	消耗品費	470,062	282,828	△ 187,234
	燃料費	0	0	0
	印刷製本費	0	0	0
	光熱水道費	8,133,637	9,809,346	1,675,709
	修繕料	2,359,736	2,277,740	△ 81,996
	通信運搬費	242,240	46,434	△ 195,806
	広告料	0	0	
	手数料	17,170	24,660	7,490
	委託料	5,789,938	4,777,723	△ 1,012,215
	使用料及び賃借料	383,040	462,542	79,502
	備品購入費	1,350,000	1,593,820	243,820
	保険費	367,478	228,600	△ 138,878
	予備費	340,807	0	△ 340,807
事業費		319,600	761,368	441,768
支出計		28,060,028	27,223,135	△ 836,893
収 支		0	4,190,569	4,190,569

平成20年度 四日市市楠プラザ運動施設 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数		359	359	計画通り	計画通りの運営企画が行われた。	適
開館時間		8:30~21:00	8:30~21:00	計画通り		
業務	管理運営	利用の増大、稼働率の向上・広報宣伝	スポーツ教室の実施による施設利用の増、くすぼホームページ等でのPR	計画通り		
		コスト縮減等の経営方針	人件費の削減・利用者による施設管理の実現	計画通り		
	施設維持管理	利用者の安全を確保するための取組	点検項目マニュアルの作成	計画通り		

2. 利用実績

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
施設利用実績	利用者件数	当初計画では件数設定なし	7,002	—	総利用率1%アップの達成目標を大幅に上回り適正に達成された。実施計画よりも多くの事業を行い、年間延べ500人以上の参加者の達成目標を大幅に上回り適正に達成した。	適
	利用者数	当初計画では人数設定なし	107,199	—		
	稼働率	26.60%	33.7%	7.10%		
事業参加者実績	スポーツ教室事業	3教室 全24回	7教室 全58回	4教室、全34回		
	大会及びイベント	2大会	2大会	計画通り		
	体力相談事業	運動適正テストの実施	運動適正テスト・メタボ体操	1事業		
	スポーツ振興事業	3種目 年間9回	4種目 年間11回	1種目、年間2回		
	一般公開事業	年間4回	年間52回	48回		

3. 事業収支

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	使用料	4,306,028	7,239,170	2,933,142	年間の事業収支においては、施設PRを積極的に行うことで、四日市市の運動施設のひとつとして利用者拡大に努め、当初計画より使用料収入が大幅に増加した。また、事業収入についても、当初計画を上回った。	適
指定管理料		23,400,000	23,400,000	0		
雑収入		0	109,464	109,464		
自主事業収入	スポーツ教室の実施	354,000	365,300	11,300		
	大会及びイベントの実施		61,000	61,000		
	スポーツ振興事業		201,230	201,230		
	一般公開事業		37,540	37,540		
収入計		28,060,028	31,413,704	3,353,676		
人件費		8,286,320	6,958,074	△ 1,328,246	[勤務体制：12人]	適
管理費	消耗品費	470,062	282,828	△ 187,234	支出については、人件費の削減や、利用者による利用者のための施設管理を基本方針として行うことで、委託料の削減に努め、全体的な経費の削減につながった。	
	燃料費	0	0	0	この人件費の削減に対して、勤務体制について確認したところ適正な配置がなされていた。施設管理上必要な有資格者についても適正に配置されていた。	
	印刷製本費	0	0	0		
	光熱水道費	8,133,637	9,809,346	1,675,709	光熱水費や事業費に関しては、施設利用者の増や自主事業を積極的に開催することで参加者が計画より多くなった。その分、経費がかさむ結果となったが、施設利用料の増により多くの収入を得ることができた。	
	修繕料	2,359,736	2,277,740	△ 81,996		
	通信運搬費	242,240	46,434	△ 195,806		
	広告料	0	0	0		
	手数料	17,170	24,660	7,490		
	委託料	5,789,938	4,777,723	△ 1,012,215		
	使用料及び賃借料	383,040	462,542	79,502		
	備品購入費	1,350,000	1,593,820	243,820		
	保険費	367,478	228,600	△ 138,878		
	予備費	340,807	0	△ 340,807		
事業費		319,600	761,368	441,768		
支出計		28,060,028	27,223,135	△ 836,893		
収 支		0	4,190,569	4,190,569		

総合コメント

楠プラザ運動施設は、指定管理者制度導入以前は、自主事業を行ってこなかった経緯があり、指定管理者制度導入のメリットとして事業による利用者の確保を仕様内容に記載して選定を行った。指定管理者である楠スポーツクラブは、昨年度の反省点を活かし、施設の有効な利用を図るために、スポーツ教室などの自主事業を多く展開し、広報などによるPRに努め、更なる利用者の拡大に努めた。また、教室アンケートなどを利用することで、柔軟な発想で事業を展開できたことが事業参加者実績の大幅な増につながったのではと考えられる。施設の修繕・整備などは、利用者の声を聞きながら積極的に行うことで、利用者アンケートでの好評価につながったと考えられる。また、文書編さん保存規定により人事書類、経理書類、財産書類等を適正に整理・保管されていた。

平成20年度 四日市市楠プラザ運動施設 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>施設利用実績については、前年度からの業務改善を進め、広報活動やPR事業の積極的な運営などにより、多くの利用者を獲得することができたと思われる。また、アンケートや窓口相談を積極的に行うことで、利用者の声を反映した事業や有効的な施設利用の提案など数字として現れない窓口職員の努力が評価される。その結果がアンケートの職員対応の満足度にも現れている。</p>	適
事業 収支	収入	<p>収入については、施設使用料が大幅に増加した。これらは、日常の練習などで使用している団体と競合して、施設を利用するのではなく、あえて施設の空き時間や利用の少ない時間帯に教室・イベントなどの事業を展開するなどの工夫があったこと。また、新たなスポーツサークルや団体が申し込みに来た時には、施設の空き時間を利用者に知ってもらい、アドバイスをするなど、有効的な施設利用に向けた取組みを行うことで、この結果につながったと思われる。</p>	適
	支出	<p>12名の職員が交代で勤務しており、的確な管理業務を行うために職員研修や事務局ミーティングを行うなどサービスの向上に努めた。また、サブクラブマネージャーを窓口職員として配置するなど、人件費の削減に努めながらもサービスの低下を招かないよう工夫していた。また、利用者登録の更新などの案内を通知するのではなく、施設を利用する時に更新手続きができるよう工夫し、通信運搬費などの削減に努めた。また、委託料については、仕様内容の見直しや、清掃など事務職員で対応できる範囲について検討し自ら実施するなど、経費の削減に努めた。</p> <p>施設利用料の収入が伸びたことによる電気代、水道代の増加が見られた。しかし、トイレの電気をセンサーライトに変更するなど経費の削減についての工夫が感じられた。備品購入については、利用者からの意見などを取り入れ積極的に行っていた。</p>	適